

岩手県重症心身障害児（者）を守る会

第99号 H28. 7. 15発行

TSK

会報 愛の手

編集・発行 岩手県重症心身障害児（者）を守る会
〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内
☎019-601-2255 FAX 019-601-2255 (共有)
E-mail mamoru2255@gmail.com
発行責任者 齊藤 勉



守る会の
三原則

1. 決して争ってはいけない 争いの中に弱いものの生きる道はない
1. 親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加するものは党派を超えること
1. 最も弱いものをひとりももれなく守る

平成 28 年度定時総会報告

5月15日（日）ふれあいランド岩手において今年度の総会が開催され、次のご来賓の皆様よりご祝辞をいただきました。今年度も多くの皆様に来賓としてご出席いただきました。心より感謝申し上げます。

岩手県保健福祉部障がい保健福祉課	参事兼総括課長	伊藤 信一様
岩手県教育委員会事務局学校教育室	特別支援教育課長	佐々木 徹様
(独) 国立病院機構釜石病院	院長	土肥 守様
みちのく療育園	施設長	伊東 宗行様
全国重症心身障害児（者）を守る会東北ブロック・副ブロック長		秋元 利通様
もりおかこども病院	院長	米沢 俊一様
(独) 国立病院機構岩手病院	療育指導室長	伊藤 広介様
(独) 国立病院機構釜石病院	療育指導室長	青木 勝彦様
(独) 国立病院機構花巻病院	療育指導室長	佐川 修様
みちのく療育園	看護課長	小山田美知子様
みちのく療育園	療育部長	中村 純一様
(独) 国立病院機構釜石病院	児童指導員	野田 大倫様
(独) 国立病院機構釜石病院	保育士	猪又 恵子様
親子教室	講師	木村 純子様
岩手県保健福祉部障がい保健福祉課	主任	小笠原 靖様
看護師		小笠原留美子様

議事は27年度事業報告・収支決算報告及び28年度事業計画・収支予算、スローガンについて原案通り承認され、役員改選については齊藤会長を始め前役員が引き続き新役員として承認されました。そのほか会長から本部会費の改定（月額550円→700円）に関し、今年度分の本部会費改定分は前年度の繰越金で賄い、今年度の会費は現行の年額1万とし

たいこと、来年度以降は会員・賛助会員を募りながら状況をみて検討していく旨が話されました。それに対し会員からは、次のような意見がありました。

- ・賛助会員を募る前にやはり親が負担すべきではないか、障害年金等いただいている中で親が払うものだと感じる
- ・岩手支部の会計がひっ迫している状況なので来年度からの値上げはやむを得ない
- ・他県の情報・・青森、福島、宮城は年額 1,800 円～ 2,000 円アップで改定している
- ・事務局費が下がらないよう支部会費を値上げするべきだと思う
- ・会員を増やすことで会が潤っていく。会報を様々な場所に置いてもらってはどうか

また、来賓の方々から次のように様々なアドバイスをいただきました。

- ・現会員の子供は 10 歳未満が 4 名と少ないため、乳幼児健診等公的サービスでも会のパンフレットを配布してはどうか（※県内の重心児者は 588 名、内 10 歳未満は 113 名）
- ・10 歳未満の保護者が入会していないのは生活に余裕がなく情報も少ないため。情報ツールとして HP や Facebook を利用してはどうか
- ・守る会のように行政と対等に話し合える会は貴重
- ・事業報告に盛岡市の会議への参加が多いが、他市町村への働きかけも行ってはどうか

会場の意見を受け会長より、会費に関しては今後の理事会で検討を重ねていきたい、各市町村へのアピールについては県内各地への訪問活動を今年度の活動方針の一つとし取り組んでいきたいとの発言がありました。

今年度は色々な意見が飛び交う充実した総会となりました。以降に資料を抜粋し掲載しておりますので、ご覧のうえ今後とも活動にご協力をお願いします。

平成27年度事業報告

最初に、昨年9月に第19回重症心身障がい児（者）を守る東北ブロック大会・研修会岩手大会が、岩手県支部として26年度から実行委員会をたちあげ、準備をして6年ぶりに開催いたしました。

大会には東北各県から、300名を超える守る会会員及び関係者が参加され、「～いのち、

輝いて～」をテーマに、こども達を守るための活動体験、日頃の悩み、要望など親としての思いを話し合われ、有意義な交流がなされたと思っております。分科会等では、自治体、Dr、福祉施設関係者などの適切な助言により、内容の濃い意見交換がなされました。関係者各位のご協力、ご支援により開催出来ましたことに心から感謝申し上げます。

さて、重症心身障害児者を取り巻く状況は、障害者総合支援法施行3年後の見直しに向けての関係機関での協議を踏まえ、厚労省より報告書が出されました。このような動きの中、守る会としては重症心身障害児者を守るため、こういう現状の中、多様な課題の解消に向けて次のような活動をしてまいりました。

- ・介護者支援事業保護者研修会では「障がい者差別解消法を学ぶ」と題して、岩手県立大学非常勤講師の細田重憲先生の講演会が行われました。
- ・盛岡市障がい児教育推進会議への出席、岩手県、盛岡市へ「医療的ケアを要する重症心身障がい児者の福祉、医療の充実に関して」等について要望書を提出しました。
- ・県と盛岡市との「盛岡圏域の在宅支援を考える意見交換会」、「平成27年度障がい者関係団体との意見交換会」で諸課題等について意見交換をした。
- ・11月と2月に開催された、「平成27年度岩手県重症心身障がい児・者支援体制検討委員会」にオブザーバーとして出席しました。
- ・母親部会では、6月にみちのく療育園にて、療育園保護者会会員、在宅家族など17名が参加され、成年後見制度、施設、在宅での日中活動の情報交換などされ、有意義な交流会でありました。
- ・二戸広域振興局にて、介護者支援相談活動、県北地区・相談支援スキルアップ研修に参加して守る会活動への理解を深めております。

研修会の様子

岩手県福祉基金助成事業 保護者研修会



平成27年度 一般会計収支決算

収 入					
項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要	
正 会 員 会 費	2,200,000	2,270,000	△ 70,000	会員 233 名 (未納 3 名、免除 4 名、H26 年度分 1 名)	
賛 助 会 費	100,000	140,000	△ 40,000		
寄 付 金	210,000	360,000	△ 150,000	国立病院親の会×3、生命保険協会、他	
助 成 金	453,000	453,000	0	岩手福祉基金より	
参 加 費	0	0	0		
雑 収 入	100	157,666	△ 157,566	預金利息 157 円、東北ブロック大会から 157,509 円	
繰 越 金	282,119	282,119	0		
合 計	3,245,219	3,662,785	△ 417,566		

支 出					
項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要	
本 部 会 費	1,452,000	1,533,400	81,400		
事 務 費 ①	40,000	10,984	△ 29,016	事務用品等	
事 務 費 ②	510,000	490,000	△ 20,000	事務局手当 2 名分	
通 信 費	110,000	62,088	△ 47,912	電話、インターネット等	
旅 費・会 議 費	220,000	111,320	△ 108,680	理事会旅費、会議用お茶等	
介 護 者 支 援 事 業	224,000	207,113	△ 16,887	研修会 2 回、相談支援活動	
会 報 発 行 費	280,000	306,750	25,750	業者 4 回各 500 部	
親 子 教 室 費	20,000	20,000	0	幼児教室教材費等	
部 会 活 動 費	50,000	50,000	0	地区活動補助 (盛岡分会、一関、釜石、気仙)	
入 居 料	120,000	89,387	△ 30,613	ふれあいランド入居費・光熱費・機器負担金等	
負 担 金	112,000	146,500	34,500	東北ブロック会費	
慶 弔 費	10,000	0	△ 10,000		
予 備 費	97,219	0	△ 97,219		
合 計	3,245,219	3,027,542	△ 217,677		

残 高 総収入 - 総支出 = 繰越金 635,243

平成28年度 活動方針

最近の重症児者を取り巻く情勢は、関係法律の改正等に伴う制度改正などの障がい福祉施策の変更が想定され、今後ますます厳しくなると考えられます。

厚労省の平成28年度障害保健福祉部関係の予算案の概要の中で、障害福祉サービス関係費は対前年度対比で6.5%の増額となっておりますが、実態をきちんと見極め、適正な予算執行がなされることを望みたいと思います。

このような中、守る会としては障害者総合支援法の見直しによる福祉施策が、重症児者にとってよりよい環境整備がなされるのか注視し、これからの活動の取り組みをなお一層強化していくことが極めて重要であると思います。

障害者福祉サービスの実施主体である市町村に対し、良質な障害福祉サービス等の確保のため、地域における障害児者支援の推進として今年度は、県内3地区程度の市町村担当課、広域振興局、会員及び地域の親の会など活動団体等との懇談会を開催し、守る会についての啓発を行い、理解を深める活動を行いたいと思います。

平成28年度 スローガン

1. 県や市町村の障がい者福祉施策に重症心身障害児者への配慮を！
2. 災害時に重症児者が守られる福祉避難所の設置を！
3. (独) 国立病院機構及び民間重症児施設入所児者の療育内容の充実を！
 - (1) 充実した人生を送るために生涯教育の機会を！
4. 在宅重症児者の地域での生活支援体制の充実を！
 - (1) 各地域でのショートステイ、デイサービス等の拡充を！
 - (2) 卒業後の日中活動の充実を！
5. 岩手県立療育センターの児・者一貫療育制度の整備を！
6. 重症心身障害児者の特性に配慮し、それぞれの可能性を引き出す教育を！
 - (1) 居住地の学校に通う重症児に、地域に溶け込んで繋がる環境の整備を！

平成28年度 事業計画

事業名	実施日	内容
介護者支援事業 [福祉基金助成対象事業] (1) 保護者支援研修会 (2) 障がい者支援活動	第1回 5/15 第2回 未定 6月～12月随時	(1) 介護に関する知識や技術等の情報を提供し、 児者の介護に関わる方々に役立ててもら う。年2回程度実施する。 (2) 各広域圏域に対して、守る会の公報と、障 がい児者支援の推進を図る。
会報発行事業 [福祉基金助成対象事業]	年4回 (うち1回は事務局 印刷)	会報「愛の手」を、会員・関係機関に配布し、 情報の共有に努める。(4月・7月・10月・2月)
全国大会	6月18日～19日	第53回重症心身障害児者を守る全国大会 会場：青森市『ホテル青森(メイン会場)』
東北ブロック大会 ・研修会	9月3日～4日	第20回東北ブロック大会・研修会秋田県大会 会場：秋田県大潟村『ホテルサンルーラル大潟』
行政への要望	随時	重症児者及び超重症児の医療・福祉・教育施策 充実のための要望や懇談を行う。
本部との連携	随時	全国守る会(本部)支部としての活動を充実さ せる。
諸会議	随時	○定期総会、理事会、三役会議、その他必要に 応じた会議を開催し、目的達成のための事業 執行、組織強化に努める。 ○専門部会議：在宅部会、母親部会、国立施設 部会、重症児施設部会
その他	随時	関係団体の活動に参加、協力する。特に、「岩手 県の療育を考える会」との連携を強化。

平成28年度 一般会計収支予算

収 入				
項 目	予 算 額	前年度決算額	差 異	摘 要
正 会 員 会 費	2,100,000	2,270,000	170,000	210名×1万円
賛 助 会 費	100,000	140,000	40,000	
寄 付 金	220,000	360,000	210,000	国立病院親の会×3 他
助 成 金	300,000	453,000	153,000	岩手福祉基金より
参 加 費	0	0	0	
雑 収 入	100	157,666	157,566	預金利息
繰 越 金	635,243	282,119	△ 353,124	
合 計	3,355,343	3,662,785	307,442	

支 出				
項 目	予 算 額	前年度決算額	差 異	摘 要
本 部 会 費	1,764,000	1,533,400	△ 230,600	210人×700円×12月
事 務 費 ①	12,000	10,984	△ 1,016	事務用品、
事 務 費 ②	420,000	490,000	70,000	事務局手当
通 信 費	110,000	62,088	△ 47,912	電話、インターネット、FAX、切手
旅 費・会 議 費	200,000	113,320	△ 86,680	理事会、各会議等旅費、会議室使用料等
介 護 者 支 援 事 業	140,000	207,113	67,113	研修会2回、守る会公報活動3回
会 報 発 行 費	263,000	306,750	43,750	3回各460部、事務局印刷1回
親 子 教 室 費	20,000	20,000	0	幼児教室教材費等
部 会 活 動 費	50,000	50,000	0	地区活動補助（気仙、釜石、ほけっとの会、盛岡分会）
入 居 料	120,000	89,387	△ 30,613	ふれあいランド入居費・光熱費・機器負担金等
負 担 金	139,000	146,500	7,500	東北ブロック、療育を考える会負担金
慶 弔 費	10,000	0	△ 10,000	
予 備 費	107,343	0	△ 107,343	
合 計	3,355,343	3,027,542	△ 327,801	

平成28年 岩手県重症心身障害児を守る会役員名簿

役職名	氏名	所属
会長	齊藤 勉	国立釜石
副会長	村上 芳邦	〃
〃	後藤 二三男	みちのく
〃	菊池 俊二	在宅
〃	外川 安昭	国立岩手
理事	田村 輝雄	東北ブロック長
〃	田鎖 利耕	国立岩手
〃	鈴木 正志	〃
〃	久保 儀真	国立釜石
〃	平野 功	国立花巻

役職名	氏名	所属
理事	浅沼 久美子	国立花巻
〃	遠藤 和彦	みちのく
〃	今野 敏江	〃
〃	千田 恵美子	在宅
〃	木村 直子	〃
〃	石川 麗子	〃
〃	藤村 ゆみ子	〃
〃	古舘 ユキ	事務局
会計監事	千葉 カツ子	国立岩手
〃	平 由美子	在宅

第20回重症心身障害児（者）を守る東北ブロック大会・研修会「秋田大会」の案内

実施日：平成28年9月3日（土）～4日（日）

会場：『ホテルサンルーラル大湯』 秋田県南秋田郡大湯村字北1-3

費用：参加費……4,000円（障害児・者本人は無料） 宿泊費……大人12,000円

記念講演：親としての「守る会」の大切さとは（仮定）

講師：地方独立行政法人秋田県立医療療育センター理事長 遠藤 博之氏

グループワーク：親として今、悩んでいること、考えること、すべきこと

（グループ編成のもと話し合う）

申し込み締め切り：平成28年7月28日

※参加を希望される方は、施設入所の会員さんは各施設の会長に申し込み。
在宅、その他事業所等関係の方は、守る会事務局まで連絡下さい。



避けては通れない梅雨の時期。じめじめしたいやな天気ですが、皆様の体調管理は如何でしょうか？
今回の会報は、主として、定時総会に参加いただけなかった会員さん方むけに作成してみましたので、どうぞご意見等をお待ちしております。

6月18日～19日、青森市で開催されました守る会全国大会には岩手県からも沢山の会員の皆様の参加がありました。参加された会員の皆様、大変ご苦労様でした。青森県支部の皆様をはじめ、全国からの皆様の温かい心にも触れる事が出来、大変有意義な大会を過ごすことができ、楽しい思い出も沢山出来ました。

来年は、石川県が担当県とのこと。今から旅費を貯めて、また沢山の会員さんとの参加を夢見ている事務局です。

Y・F 記